



Cultivate Future Agriculture: Right Crops, Right Place

## 静岡から世界へ 気候変動時代の新・農作物ブランド

CULTAは、気候変動時代の「グローバル農作物ブランド」をつくる農業スタートアップです  
日本が世界に誇る「園芸作物の豊富な遺伝資源」そしてCULTAが有する「高速育種技術」を掛け合わせ  
気候変動の脅威に打ち勝ち、高品質なフルーツ・野菜を提供します  
農業が積み重ねてきた「農村・食の文化」  
それらを無視せず、尊重した上で、農家と連帯し、日本そして世界の農業を再興することを目指しています

### 課題

## ニーズ急増だが生産は激減 気候変動時代の「農業の難題」

東南アジアを中心とした経済成長による所得増加で、ジャパंकオリティの「美味しい」が、世界に求められています。イチゴ、メロン、サツマイモなど、プレミアム価格帯のフルーツの日本からの輸出も、急増中です。

しかし、あらゆる作物で

- 気候変動での生産減からの価格高騰
- 経営不安の離農による生産減

など、生産者も消費者も不幸になる「負のスパイラル」が発生しています。

土地と気候に合う作物を作る「適地適作」というこれまでの原則が通用しなくなる。そんな未来が一步先までできています。

CULTAはそんな気候変動時代に、新環境に適応した「未来の適地適作」を実現する会社です。

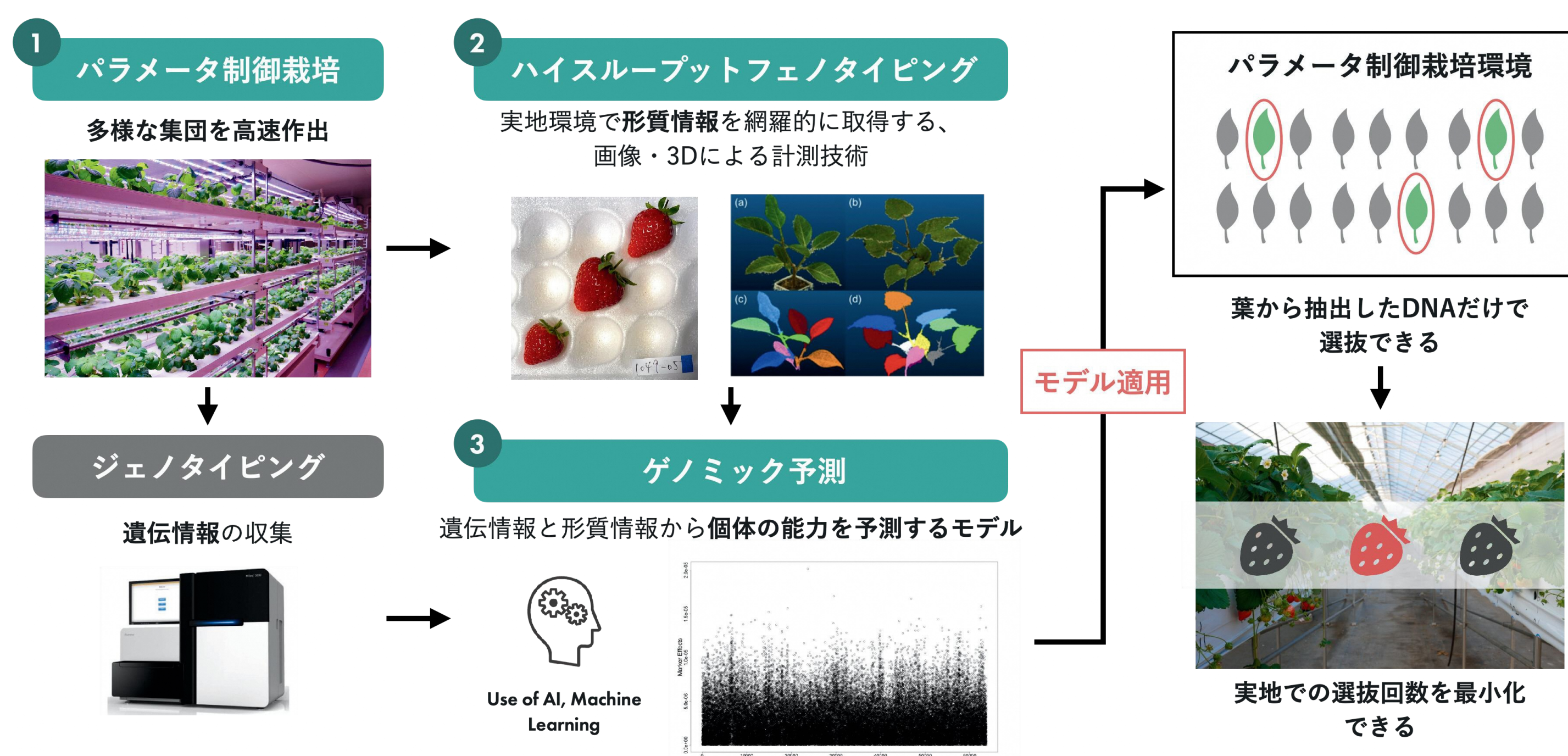
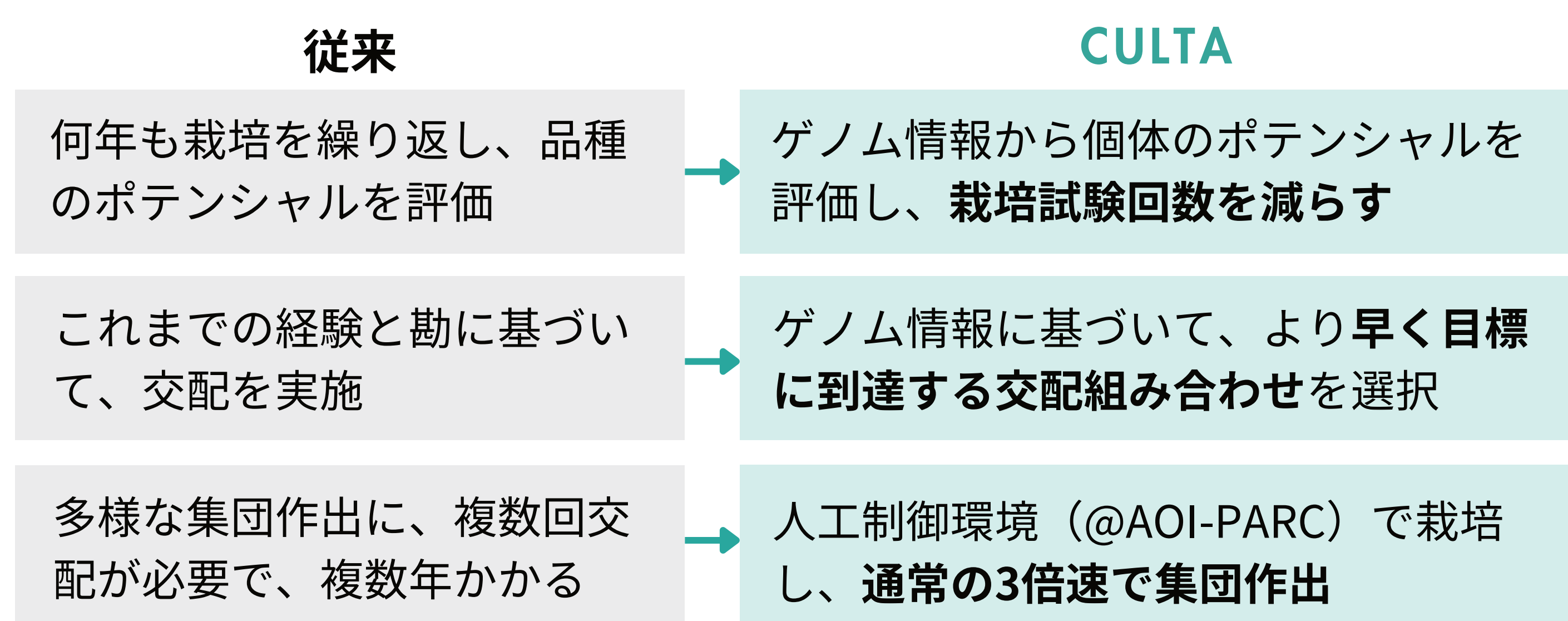


マレーシアの日本産フルーツショップに行列ができています

### 解決策

## 高速育種技術

「未来の適地適作」を実現するための鍵は、新品種です。  
CULTAは高速育種技術を活用し、ゲノム編集・遺伝子組み換えの手法に依存せず、従来の品種改良を5倍速で進めています。



先端技術を組み合わせ、従来の交配育種を高速化する

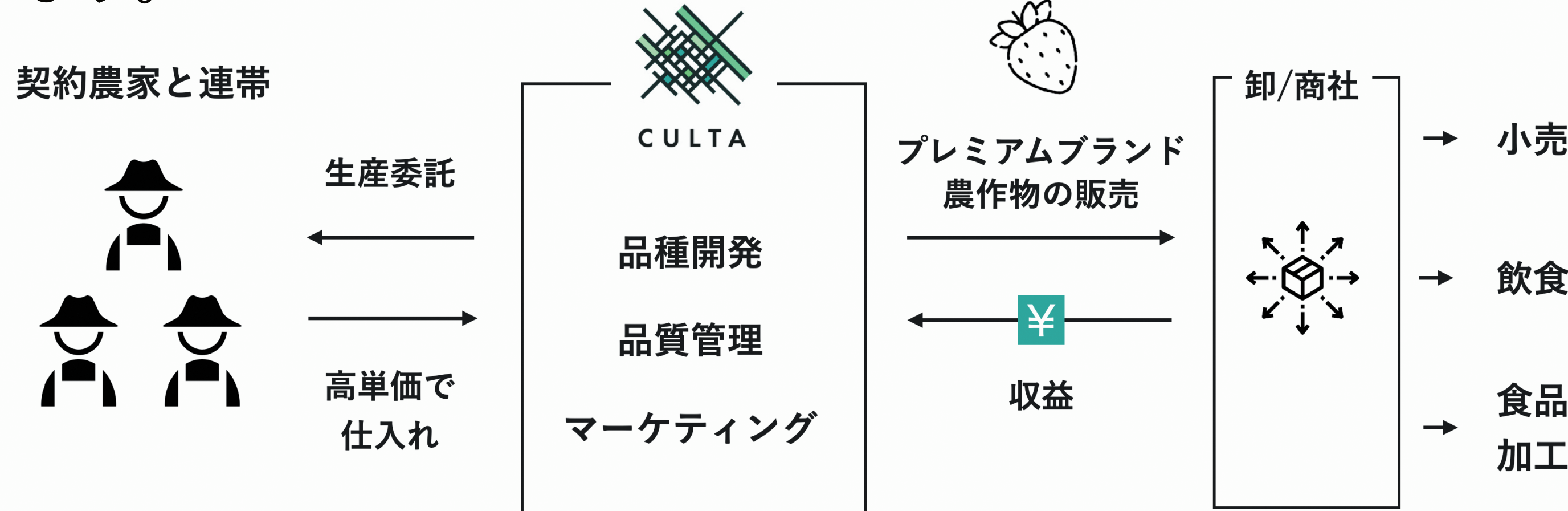
### 解決策

## 垂直統合で創る「プレミアムブランド」

品種だけで、農業の構造改革はできません。CULTAは、  
• ブランドの切り口で、農業という産業構造自体にアプローチ  
• 品種から生産管理、流通、マーケティングまで、バリューチェーンを「垂直統合」

することで、消費者に対して品質を保証し、真の農作物ブランドを創造。

生産者と消費者が共に豊かになる、農業の新しい構造を実装します。



### 今後の展望

## 静岡名産のイチゴから、「日本のお家芸」を世界に

すでにイチゴで、輸出に適した棚持ちと高糖度を両立する品種作出に成功。  
国内生産者と連帯して量産、輸出を進めます。中長期的には、サツマイモなど他の園芸作物の品種改良も進めます。



株式会社CULTA

本社 東京都小金井市中町2-24-16 農工大・多摩小金井ベンチャーポート303  
沼津ラボ 静岡県沼津市西野317 AOI-PARC  
Web <https://culta.jp/>



当社ウェブサイト